

mbman

88 ULTIMATE

ULTIMATE FIDELITY MONAURAL
POWER AMPLIFIER

MB88u

INDEX

各部の名称と用途	2～3
接続のしかた	4～5
回路図	6
特性図	7
規格	8

MB88ultimateをご採用くださいましてありがとうございます。

本機は、当社が創業以来、一貫して手がけて参りました、真空管アンプの最新モデルで、設計、製作には、技術顧問の上原晋が当たりました。この道40年のキャリアを持つアンプづくりの名手が丹精したもので、通常の量産品では味わえない優雅な雰囲気と、鮮度のきわめて高い再生音を満喫していただけるものと存じます。

素材の寿命を考慮した無理のない設計で所期の性能をひき出していますので、安心して末長くご愛用いただけるはずです。また、限定版ですから、アンプとしての稀少価値も年々、上昇するものと思われます。

本機は、作者自身、文字通り“Ultimate”(究極)を意図して取り組み、存分に個性を注入していますが、その成果は外装、音質面にとどまらず、回路構成の面にも独自の芸術が展開されています。機会があれば、この面にも着目して頂ければ幸です。オーディオの真髄が奈辺にあるか、ご理解頂けるはずです。



各部の名称と用途

1. バイロット・ランプ

パワースイッチ⑥をONにすると、このランプが光り、通電していることを示します。

2. 入力端子

この入力端子にコントロール・アンプの出力を接続します。この接続には、両端にピンプラグの付いた、いわゆるピンプラグ・コードを使用します。コントロール・アンプの出力インピーダンスが高い場合は、ピンプラグ・コードの長さができるだけ短くしてください。

3. レベルセット・ボリューム

本機に接続するコントロール・アンプの出力電圧に合わせて、このボリュームを適当な位置にセットしておきます。たとえば、コントロール・アンプの音量ボリュームをまわしたときの変化が急激な場合は、本機のレベルセット・ボリュームを左にまわして、適當なところまでパワー・アンプの利得(ゲイン)を絞って使用すればよいわけです。このレベルセット・ボリュームには、11ポイント・クリック付のA型カーブのものを使用しています。A型の変化特性は、大体、回転角度と人間の耳に感じる音の大きさが比例関係に

ありますから、ボリュームをまわしていくときの音の大きくなる度合はごく自然です。

4. スピーカー端子

この端子にスピーカー・システムを接続します。スピーカー端子には、赤(+)側)と黒(-側)の端子がありますから、スピーカー・システムの+端子を本機のスピーカー端子の赤色(+側)端子に、スピーカー・システムの-端子を黒色(-側)端子に確実に接続してください。

なお、本機のインピーダンスは8 ohmとなってますが、4ohmや16ohmのスピ



一カをお持ちの方はそのまま接続していただいて結構です。

5. ヒューズホルダー

本機のヒューズホルダーの中には、5A(アンペア)の容量のヒューズが入っています。ヒューズが何らかの原因によって切れたときには、その原因をよく確かめ、排除してからヒューズを取替えてください。ヒューズを取替えるときは、ヒューズ・キャップをホルダーに記されている矢印の方向にまわします。これでヒューズ・キャップがはずれ、ヒューズが交換できます。

なお、このとき感電するおそれがありますので、必ず電源プラグをACコンセントから抜いておいてください。

6. パワースイッチ

このスイッチをONにするとアンプに電流が流れ、数10秒後に動作状態となります。

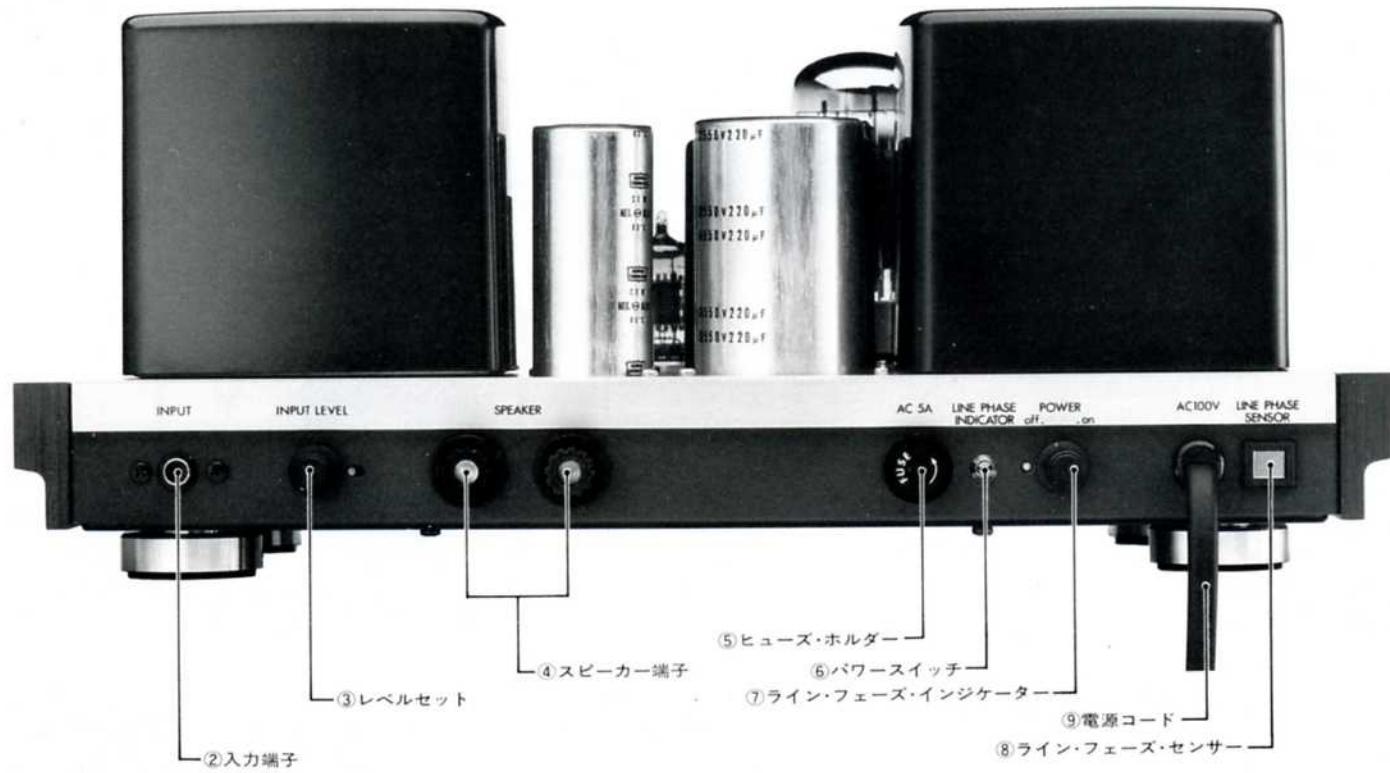
7.8. ライン・フェーズ・センサ

電源コードをリスニング・ルームのコンセントに差し込む際に、このセンサで極性を確認します。電源を接続してから、指先でセンサ⑧にかるく触れ、インジケーター⑦が消えたままであれば、正しい極性です。

指先でセンサに触るとインジケーターが点灯する場合には、ACプラグを差し込む方向を逆にしてください。なお、マンションなどのコンセントでは、差し替えても点灯したり、消えたままことがあります。この場合は、どちらの方向でもかまいません。

9. 電源コード

このACコードの先についているACプラグをAC100Vのコンセントに接続します。



接続のしかた

スピーカーの接続

右チャンネルと左チャンネルのスピーカー・システムが1組となって、ステレオ再生が行われます。本機はモノーラル・パワーアンプですから、ステレオ再生を行うためには、もう一台パワーアンプを用意していただかなければなりません。

本機にコントロール・アンプの出力端子のL.chを接続した場合には、本機のスピーカー端子に左側のスピーカー・システムを、コントロール・アンプのR.chを接続した場合には、右側のスピーカー・システムを接続します。スピーカー端子には、赤色(+)側、黒色(-)側の2つの端子があります。スピーカー・システムの+端子を本機のスピーカー端子の赤色(+)側端子に、スピーカー・システムの-端子を本機のスピーカー端子の黒色(-)側端子に確実に接続してください。このとき、左右スピーカー・システムの一方だけの+端子、-端子を逆に接続すると、左右スピーカー・システムから再生される音波の位相が逆になり、低音が減少したり、音の定位が悪くなるなどの状況が生じ、正常なステレオ再生ができなくなります。

入力端子とコントロール・アンプの接続

コントロール・アンプの出力端子と本機の入力端子との間を、ピンプラグ・コード(両端にピンプラグの付いたシールド・コード)で接続します。このとき、本機に接続しているスピーカー・システムとの左右チャンネルを逆に接続しないように注意してください。

出力インピーダンスの十分に低いコントロール・アンプを本機に組合わせるとときは、このピンプラグ・コードの長さを気にする必要はありませんが、出力インピーダンスの高いコントロール・アンプを本機と組合わせて使用するときには、不必要的高域の減衰を避けるために、できるだけ短いピンプラグ・コードをお使いになることをおすすめ致します。

電源の接続

本機の電源コードの先に付いているACプラグをAC100Vのコンセントにつなぎます。これで、パワースイッチをONになると電流が流れ、パイロット・ランプ

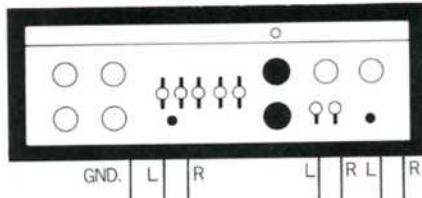
が点灯して、数10秒後に完全な動作状態に入ります。

なお、電源コードをリスニング・ルームのコンセントに差し込むときには、ライン・フェーズ・センサー⑧で、電源の極性をチェックしてください。極性チェックの方法は……

- ①電源コードの先に付いているACプラグをリスニング・ルームのコンセントに差し込んでください。
- ②ライン・フェーズ・センサー⑧を指先でかるく触れます。
- ③ライン・フェーズ・インジケーター⑦が点灯しなければ、正しい極性です。もし、点灯すれば、ACプラグの差し込み方向を逆にしてください。
- ④これで、電源の極性チェックは完了です。

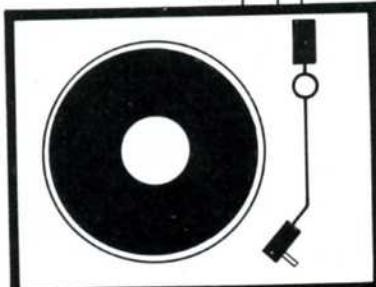
ただし、マンションなどのコンセントは、フローティング状態(ACラインの片側がアースされていない)になっていることがあります。この場合は、ライン・フェーズ・センサーで極性チェックをしてもインジケーターが点灯したまま、また消えたままになります。このときは、ACプラグがどちらの方向でもかまいません。

CONTROL AMP

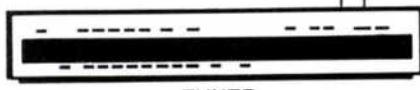


GND. L R L R L R

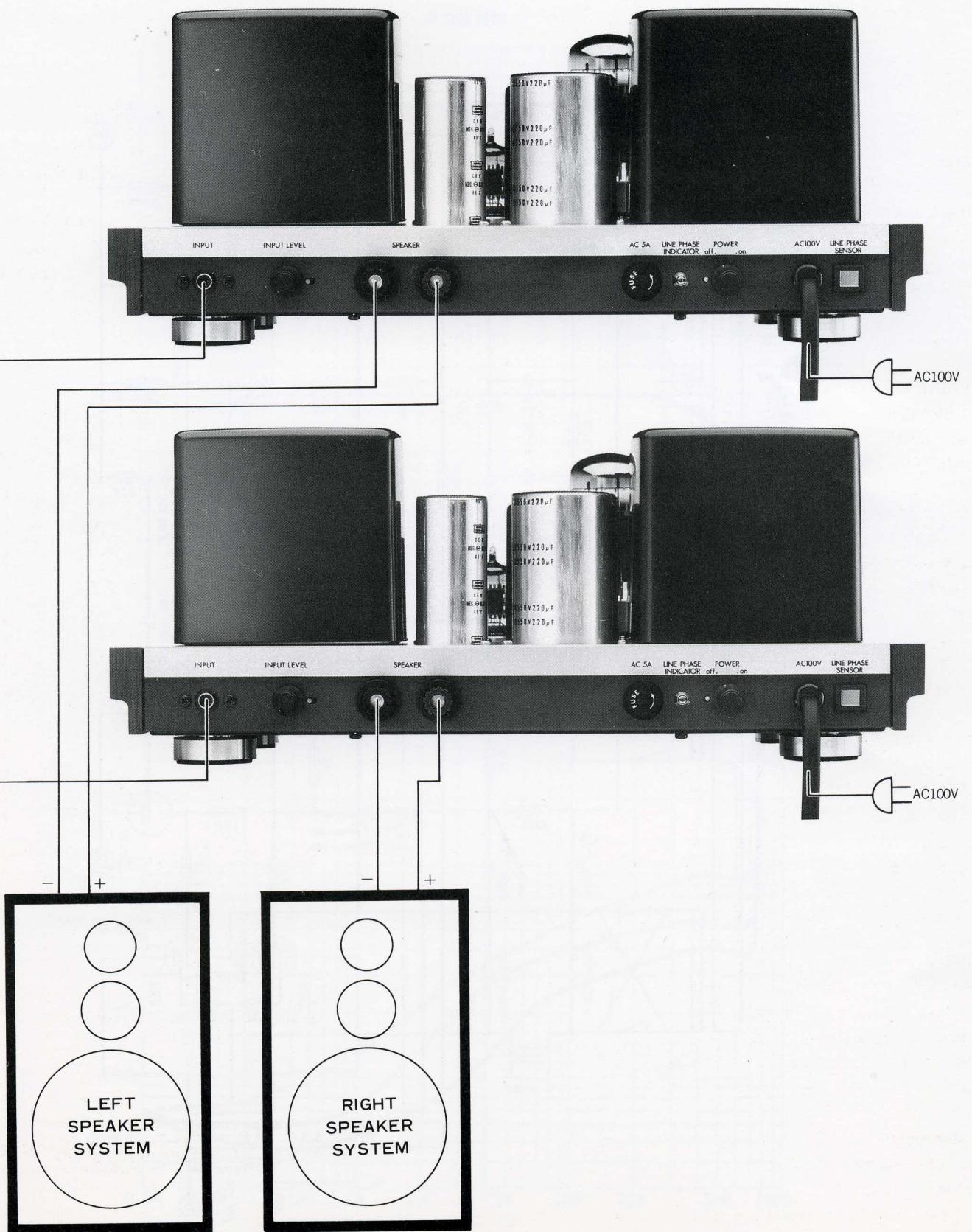
GND. L R



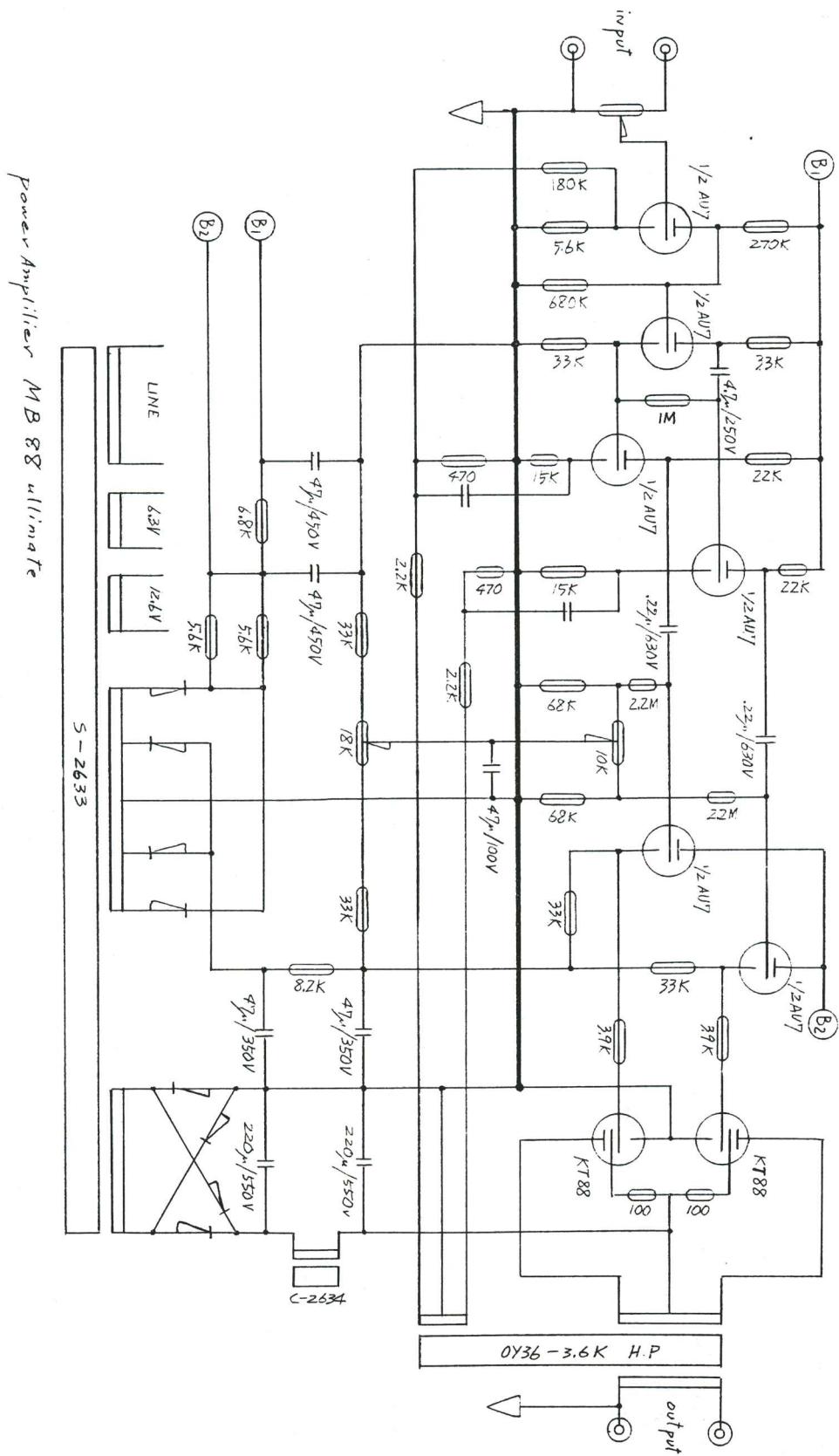
TURNTABLE



TUNER



回路図



power Amplifier MB 88 ultimate

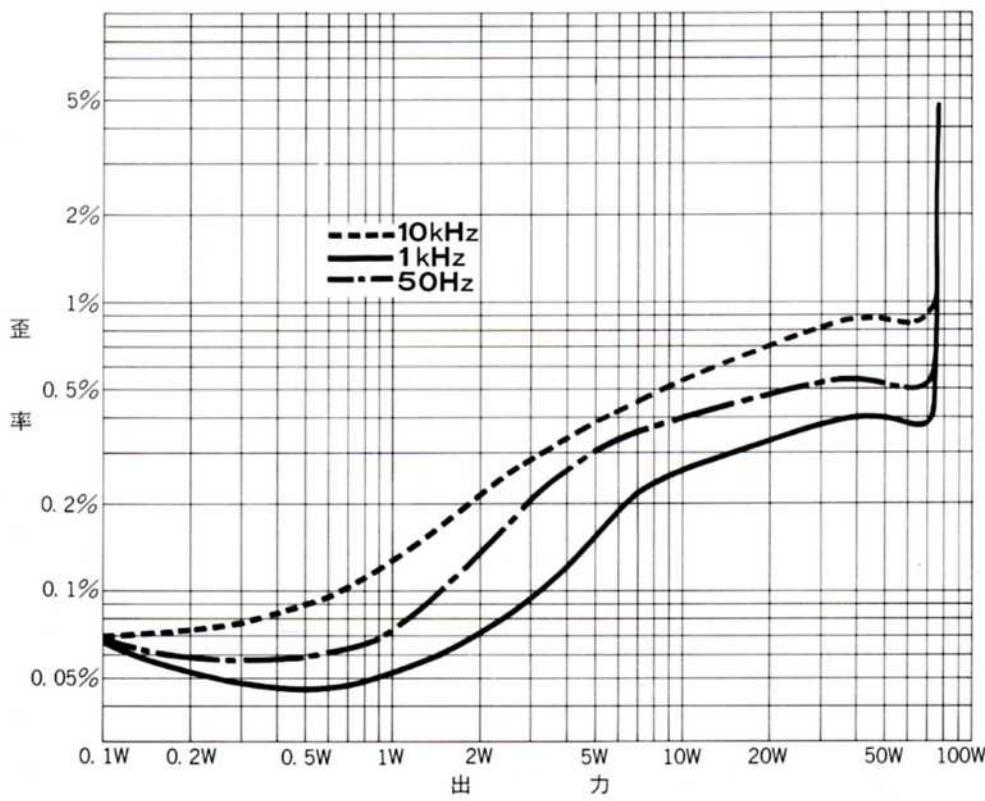
S - 2633

特性図

周波数特性



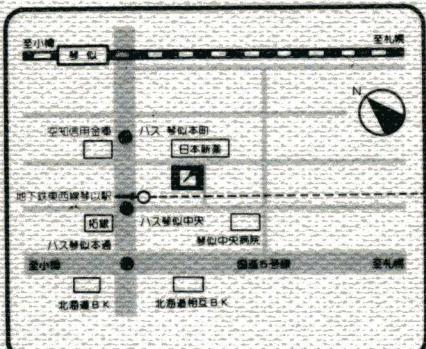
全高調波歪率特性



規 格

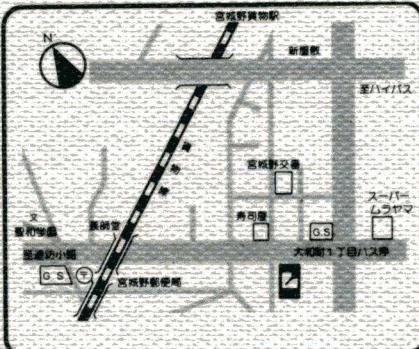
使 用 真 空 管 KT88(2) 12AU7(3)
実 効 出 力 60W(8Ω)
全 高 調 波 歪 率 0.1%以下(1kHz, 1W)
1%以下(1kHz, 60W)
周 波 数 特 性 5Hz~30,000Hz(-1dB以内, 1W)
入 力 感 度 1.2V
入力インピーダンス $80k\Omega$
S/N 比(IHF-A補正) 100dB以上
消 費 電 力 150W(定格出力時220W)
電 源 電 壓 AC100V(50Hz/60Hz)
外 形 尺 度 402(幅)×175(高)×253(奥行)mm
重 量 17.5kg

アフターサービスと品質保証について



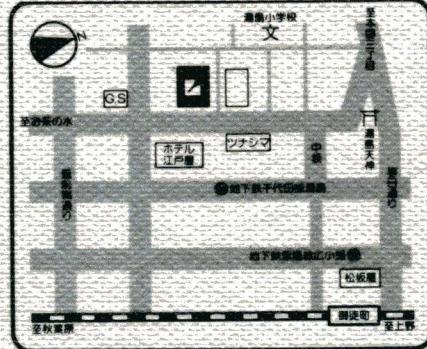
札幌営業所・サービスステーション

〒063 札幌市西区琴似1条4丁目
TEL. 011(641)2271



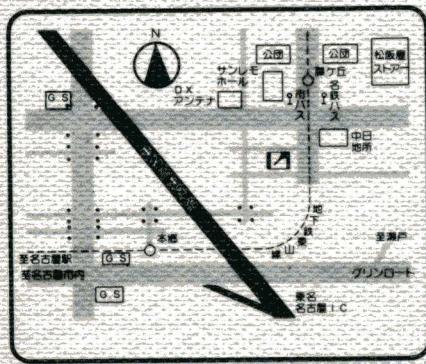
仙台営業所・サービスステーション

〒983 仙台市太和町1-3-3
TEL. 0222(94)6262



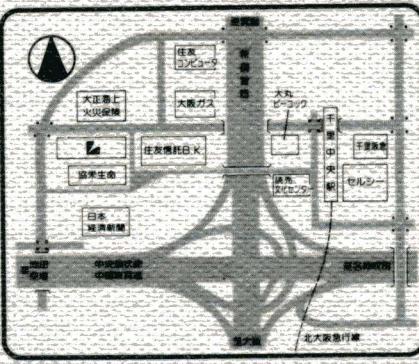
東京営業所・サービスステーション

〒113 東京都文京区湯島2-23-13
(東京営業所) TEL. 03(833)7691(代)
(サービス直通) TEL. 03(832)6667-8



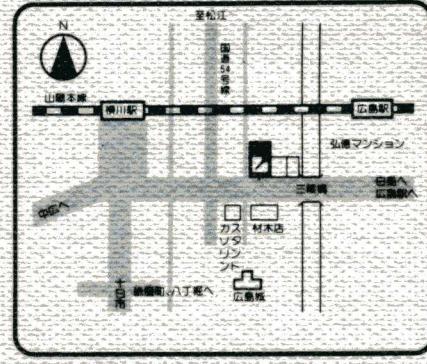
名古屋営業所・サービスステーション

〒465 名古屋市名東区藤見ヶ丘40(藤ヶ丘ビル)
TEL. 052(771)1524



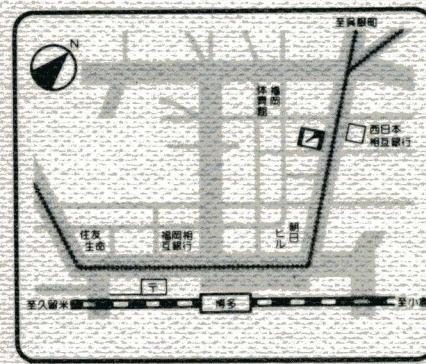
大阪営業所・サービスステーション

〒565 豊中市新千里西町1丁目1-1
TEL. 06(834)1131-3



広島営業所・サービスステーション

〒733 広島市西区楠木町1丁目7-10
TEL. 082(292)2281



福岡営業所・サービスステーション

〒812 福岡市博多区博多駅前2丁目19
TEL. 092(431)7528

ラックス製品のアフターサービスは全国主要都市に設置されている7ヶ所の営業所サービス・ステーションにて行っています。万一、本機が故障したときは最寄りのサービス・ステーションまでご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理させていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることがあります。ご容赦ください。

ラックス製品の保証期間は購入日より起算して1年間です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無

料修理させていただきます。保証書は、本機のパッキングケース内に入っていますので、お買上げ販売店で、販売年月日、店名の記入捺印（または、領収書などこれに代るもの）を受けてください。保証期間内の修理お申しつけの際は必ずこの保証書を添えてください。保証期間外、保証書なき場合の修理については実費でお引受けします。

*規格及び外観は予めなく変更する事があります。



ラックス株式会社

本社：豊中市新千里西町1丁目1-1

ニッケン株式会社

本社/〒565 豊中市新千里西町1-1-1

このたびは、Ultimate Seriesの中から本機をご採用いただきまして、誠にありがとうございました。ここに本機をお届けできることは、私共にとりまして、このうえない喜びとするところです。ぜひ末永くご愛用いただきますよう、お願ひ申しあげます。

私共は、オーディオアンプを単なる機械や道具ではなく、音楽とリスナーの間の仲立ちをするものとして、心を通わせるような存在だと考えてきました。その意味で、一種の人格をさえ感じるような機器、それが理想であると考えております。そのような思想のもとに製品づくりを行なってきた開発陣の中心となり、率いできたのが、現在ラックスの技術顧問をしております上原晋でした。このたび、私共の製品群の原点として、中心として約20年の長きにわたりロングランを続けてきましたLX38、CL36、MB88の究極版の開発にあたり、上原晋のすべてを製品に反映させる、ということを出発点としました。意匠にも、回路内容にも、その全人格が投入された結果が、Ultimate Seriesであるわけです。

Ultimate Seriesはまた、おそらく「球のアンプ」を大切にしてきた私共が、オーディオ愛好家の皆様にお届けできる、最後の究極的グレードの製品でもあります。周知のとおり、真空管はオーディオという趣味の誕生期、唯一の增幅素子として存在し、そのあたたかく奥深い魅力のゆえに多くの熱心なファンを生みました。しかし、その供給環境は年々悪化する一方で、とうとう、このたびの限定生産以降は、新製品のための安定した供給がほとんど望めなくなってしまった

このことは、1925年のラックス誕生以来、つねに「球」にオーディオの原点を見て、その心を大切にしてきた私共にとって、一言でいえない残念な事態です。しかし一方で、私共は、オーディオ界で唯一「球」を大切にし、そのことを通じて「趣味性の豊かさ」そして「音楽の感動の深さ」こそオーディオの本質であるとしっかりと見究めてきた、という自負があります。今後も、これまで培ってきたものを土台に、素子のいかんを問わず、誠心誠意、「心の通う」製品づくりの姿勢を堅持して行く所存です。なにとぞ、ご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

ラックス株式会社

取締役社長 早川 齐

DATA CHECK SHEET

<SPECIFICATION>

最大出力 L CH. 63W R CH.

規格標準値 CL36u;20V(歪率0.5%), MB88u;30W(8Ω,1kHz), LX38u;30W(8Ω,1kHz)

全高調波歪率 L CH. 0.1 % R CH. %

規格標準値 CL36u;0.1%(2V,20~20kHz), MB88u;0.1%(8Ω,1W,1kHz), LX38u;0.5%(8Ω,1W,1kHz)

周波数特性 L CH. 5~31000 Hz R CH. ~ Hz

規格標準値 CL36u;1~50,000Hz(-1dB), MB88u;5~30,000Hz(-1dB), LX38u;5~50,000Hz(-1dB)

残留雜音 L CH. 0.2 mV R CH. ~ mV

規格標準値 CL36u;0.5mV, MB88u;1mV, LX38u;1.5mV

R I A A 偏差 L CH. ± dB R CH. ± dB

規格標準値 CL36u;±0.2dB(20~20kHz), LX38u;±0.5dB(20~20kHz)

●上記項目はもちろん、これ以外の測定、配線、調整、外装・機構などすべてのチェックに合格しました。

測 定



配 線



調 整



外装・機構



総 合



本機は、私の監修のもとに開発された製品です。もちろん、製造工程につきましても、その意をくみ、入念な仕上げを行っていることは、いうまでもありません。末永くご愛用いただきますよう、お願い申しあげます。

技術部顧問

上 原